

教育研究評議会（26－第10回）議事要旨

日 時 平成27年1月28日（水） 14時15分～15時25分

場 所 講堂会議室

出席者 鵜飼学長 始め 24名

議 長 鵜飼学長

議 事

議題1 教員の選考について（審議）

議長から、議題1資料に基づき、教員の選考および同一専門分野における主たる担当職務の変更について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題2 中期計画の変更について（審議）

木下理事から、議題2資料に基づき、中期計画について、平成26年度国立大学改革強化推進補助金（総合支援型）及び同（特定支援型）の採択に伴い関連する事項について変更する必要が生じた旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題3 産学協同研究講座・産学協同研究部門について（審議）

江龍副学長から、議題3資料に基づき、産学協同研究講座・産学協同研究部門の制度概要、規程、特定有期雇用就業規則の改正及びその設置に伴う授業担当等方針等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題4 クロス・アポイントメント制度について（審議）

齊藤事務局次長から、議題4資料に基づき、平成27年度に導入を予定しているクロス・アポイントメント制度について、理工系人材育成戦略等を進め、教育・研究・産学連携活動を推進するため、産業界等との人材交流が不可欠となっており、その円滑な交流を進めることを目的として制度を創設する旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題5 教員の退職について（報告）

小畑副学長から名古屋工業大学就業規則第16条第4号に基づく休職期間満了による退職者についての報告及び、議長から転出に伴う辞職者についての報告があった。

議題6 年俸制適用職員について（報告）

小畑副学長から、年俸制を適用（予定）した職員数及び今後の公募予定等について報告があった。

議題 7 在外研究員制度について（報告）

齊藤事務局次長から、議題 7 資料に基づき、平成 27 年度から導入される在外研究員制度の概要について報告があった。

議題 8 平成 26 年度名古屋工業大学第 3 次補正予算について（報告）

廣岡財務課長から、議題 8 資料に基づき、平成 26 年度名古屋工業大学第 3 次補正予算について報告があった。

議題 9 平成 27 年度運営費交付金予定額について（報告）

廣岡財務課長から、議題 9 資料に基づき、平成 27 年度運営費交付金予定額について報告があった。

議題 10 平成 26 年度物品検査の実施結果について（報告）

有田経理課長から、議題 10 資料に基づき、平成 26 年度物品検査の実施結果について報告があった。

議題 11 大規模災害時における昭和区災害ボランティアセンター開設に係る支援協力に関する協定書について（報告）

秀島高度防災工学センタープロジェクト推進室長から、議題 11 資料に基づき、大規模災害時における昭和区災害ボランティアセンター開設に係る支援協力に関する協定を締結することについて報告があった。

議題 12 URA 職員の採用について（報告）

議長から、議題 12 資料に基づき、1 月 1 日付けで新たに採用した URA 職員 1 名について報告があった。

議題 13 新学科・新専攻、創造工学教育課程担当教員名簿(案)について（報告）

湯地理事から、議題 13 資料に基づき、現時点での創造工学教育課程担当教員名簿について報告があり、今後、カリキュラム、時間割作成、教育方法の検討、入学者選抜など、新組織をベースに進めていただくよう依頼があった。

これに対し、教員の配属や科目担当等がいつ頃に決定するのかとの質問があり、これからカリキュラムを具体化していくため、その過程において徐々に決定していくこととなる旨の説明があった。また、担当教員名簿については現時点のもので「案」であり、今後の経過において変更が生じる可能性がある旨の補足説明があった。

配付資料

- 1 教員の選考について
- 2 中期計画の変更について
- 3 産学協同研究講座・産学協同研究部門について
- 4 クロス・アポイントメント制度について
- 7 在外研究員制度について
- 8 平成26年度名古屋工業大学第3次補正予算について
- 9 平成27年度運営費交付金予定額について
- 10 平成26年度物品検査の実施結果について
- 11 大規模災害時における昭和区災害ボランティアセンター開設に係る
支援協力に関する協定書について
- 12 URA職員の採用について
- 13 新学科・新専攻、創造工学教育課程担当教員名簿(案)について